

昭和55年度演習林年報

<https://doi.org/10.15017/18571>

出版情報：年報（九州大学農学部演習林年報）。1980, 1981-11-16. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：



は し が き

九州大学農学部附属演習林は、九州地区の粕屋地方演習林（暖帯照葉樹林）、早良地方演習林（暖帯クロマツ海岸林）および宮崎地方演習林（温帯南部・暖帯上部）と北方林業に関して北海道地方演習林（温帯北部・亜寒帯林）があって、大学における林学・林産学に関する教育研究の場として活用されている。また、各地方演習林は、それぞれ異った自然的、社会的条件のもとで行われた各種の試験研究を通じて、地域林業の発展にも寄与している。

さて、政府は昭和56年度当初以来「臨時行政調査会（第二次臨調，土光敏夫会長）」を発足させ、行・財政の大改革を断行しようとしている。ただでさえ、現地演習林では人的、物的な不足をかこちながらその業務を遂行してきているが、今後はさらに一層そのきびしさが増すことを覚悟しなければならないであろう。

一般に教育研究に対する投資効果は目に見えてすぐ表われるというものではない。われわれは大学演習林の存在意義を十分認識して、これまでにも増して息の長い、しかも地道な研究活動をつづけていきたいと思っている。

ここに、昭和55年度中に行われた九州大学演習林の研究成果、学生の実習、一般業務の概要などについて報告し、関係各位の一層のご批判とご助言とをお願いする次第である。

1981年 8 月

演習林長 宮 島 寛